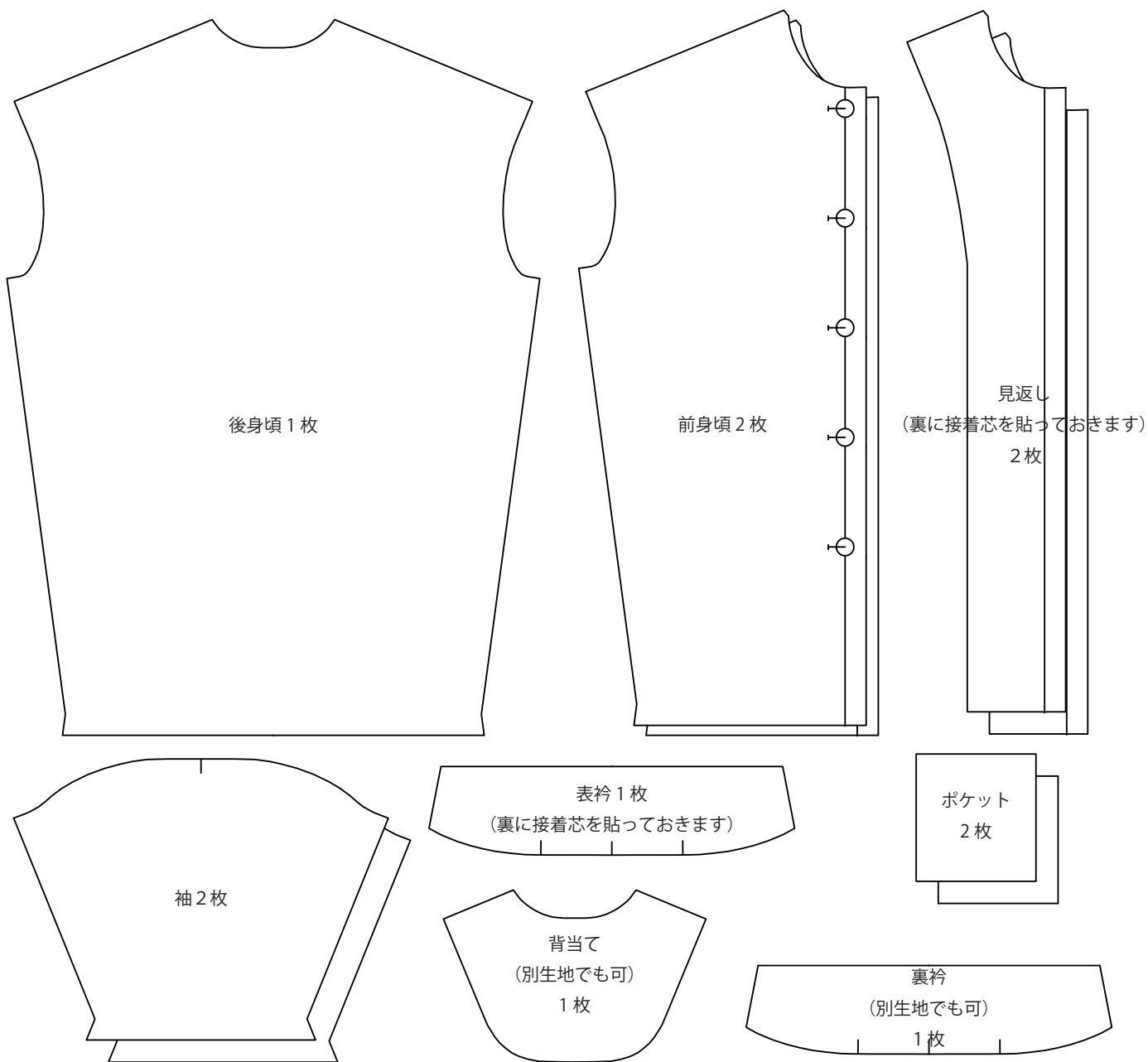


# コート・ジャケット仕様書

1. 必要なパーツを用意します。



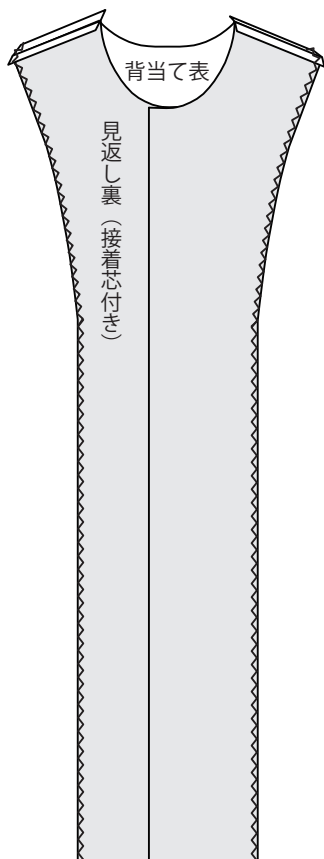
※カジュアルにクタッと仕上げたい場合は表衿の接着芯は不要です。  
※ボタンホールが壊れてしまわないように、見返し裏の接着芯は省略不可です。



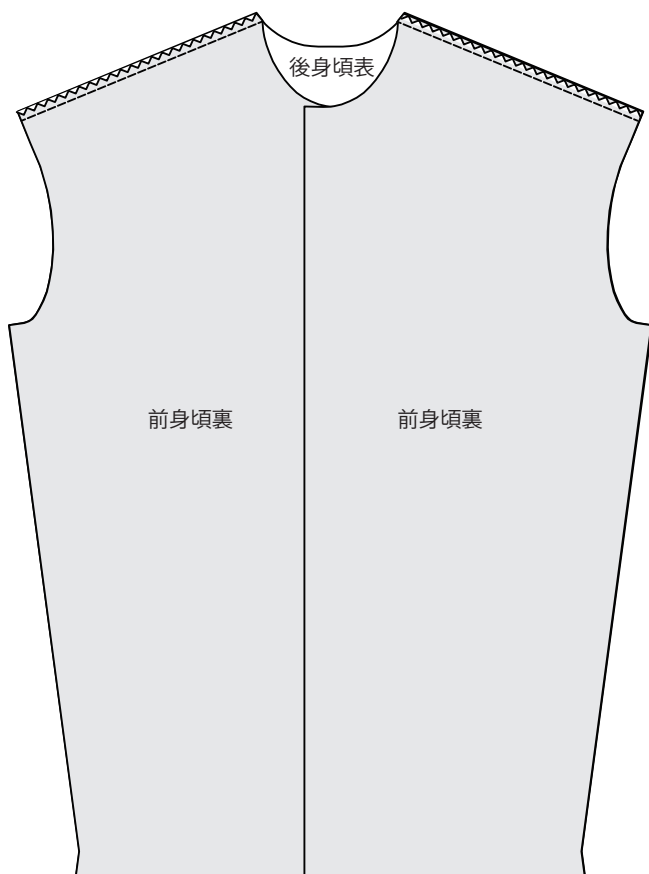
ボタン は必要な大きさと個数を用意してください

ステッチを多用します。  
ステッチ糸が細いと Handmade 感あふれる仕上がりになってしまうので  
糸は太め (#20、#30) 針もそれに伴って太め (#16) をお勧めします。

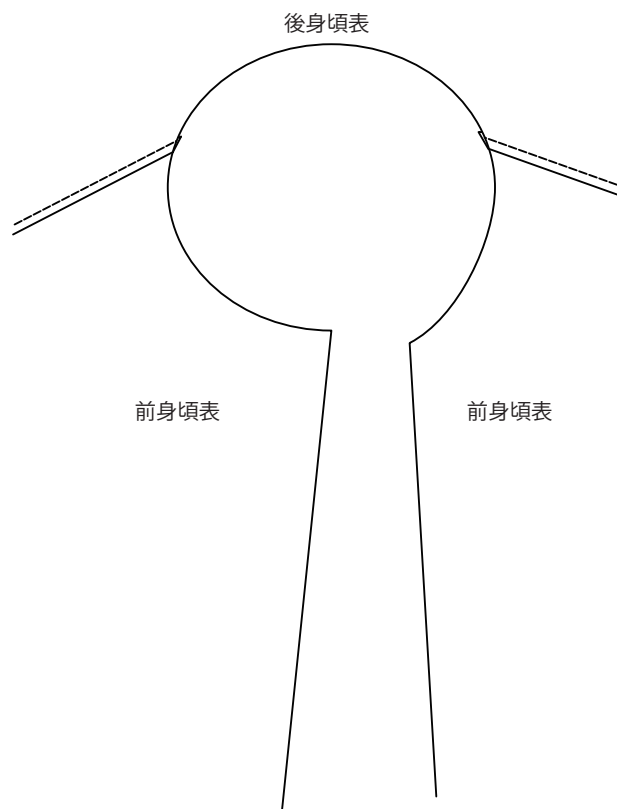
2. 見返しと背当てを中表に重ね、肩で縫い合わせます。



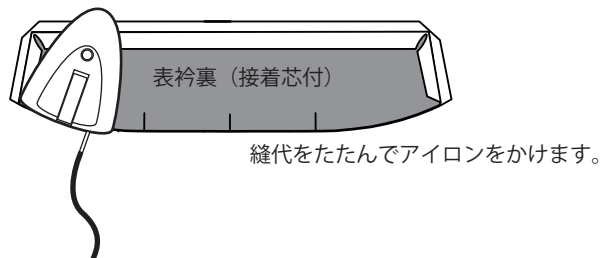
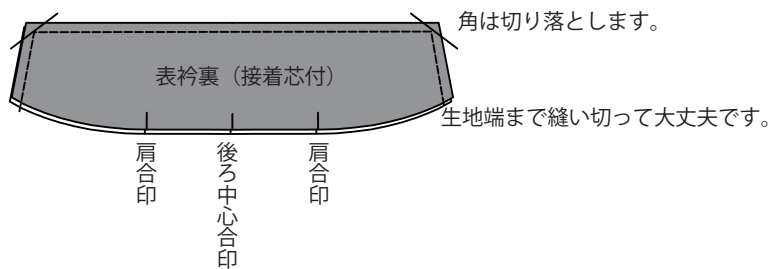
3. 前身頃と後ろ身頃を中表に重ね合わせ、肩で縫い合わせます。



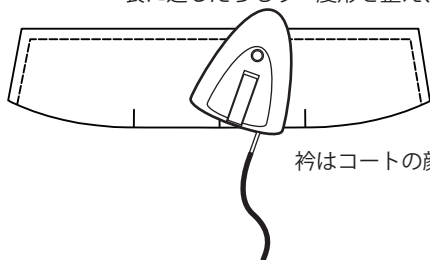
縫代は2枚一緒に始末し、後ろ身頃側に倒し、表から5mm幅でステッチします。



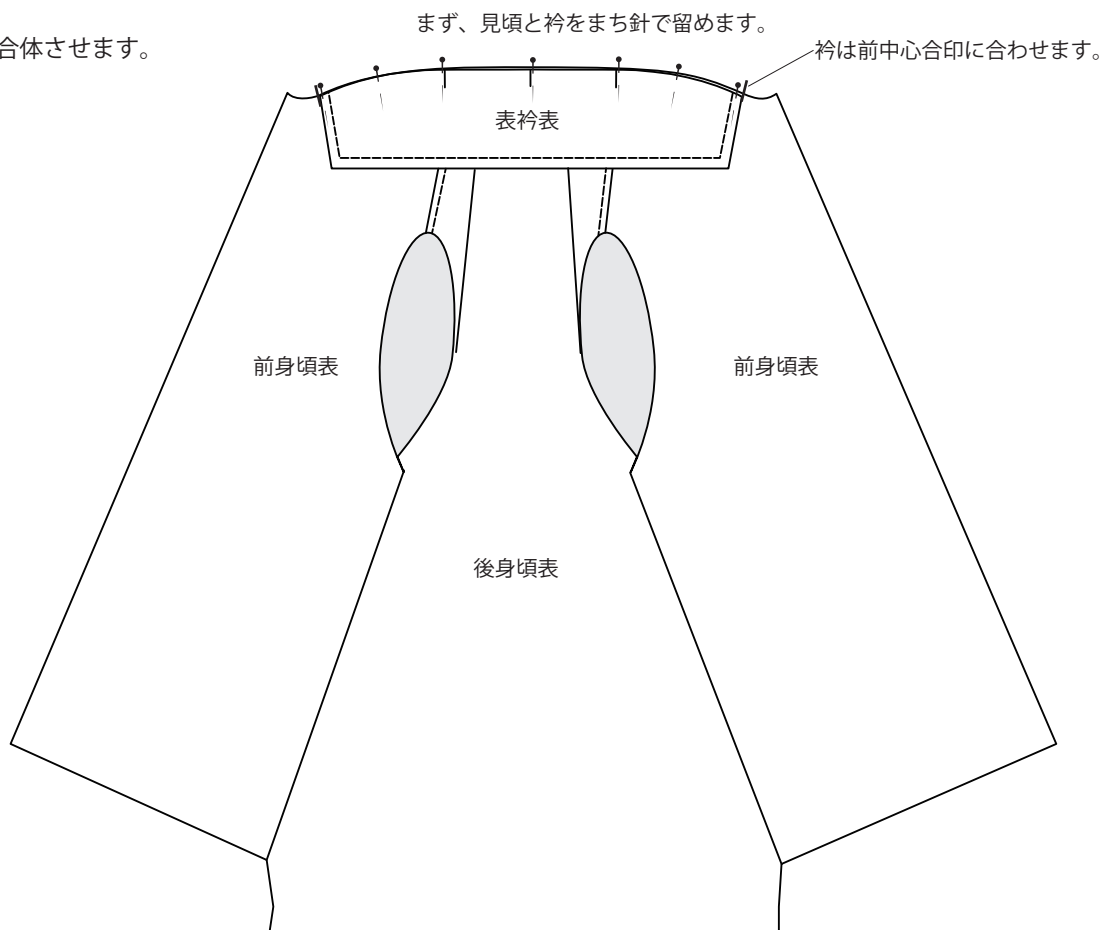
4. 表衿と裏衿を中表に重ね、縫い合わせます。裏衿の方がほんの少しだけ小さいので、うまく辻褄を合わせてください。



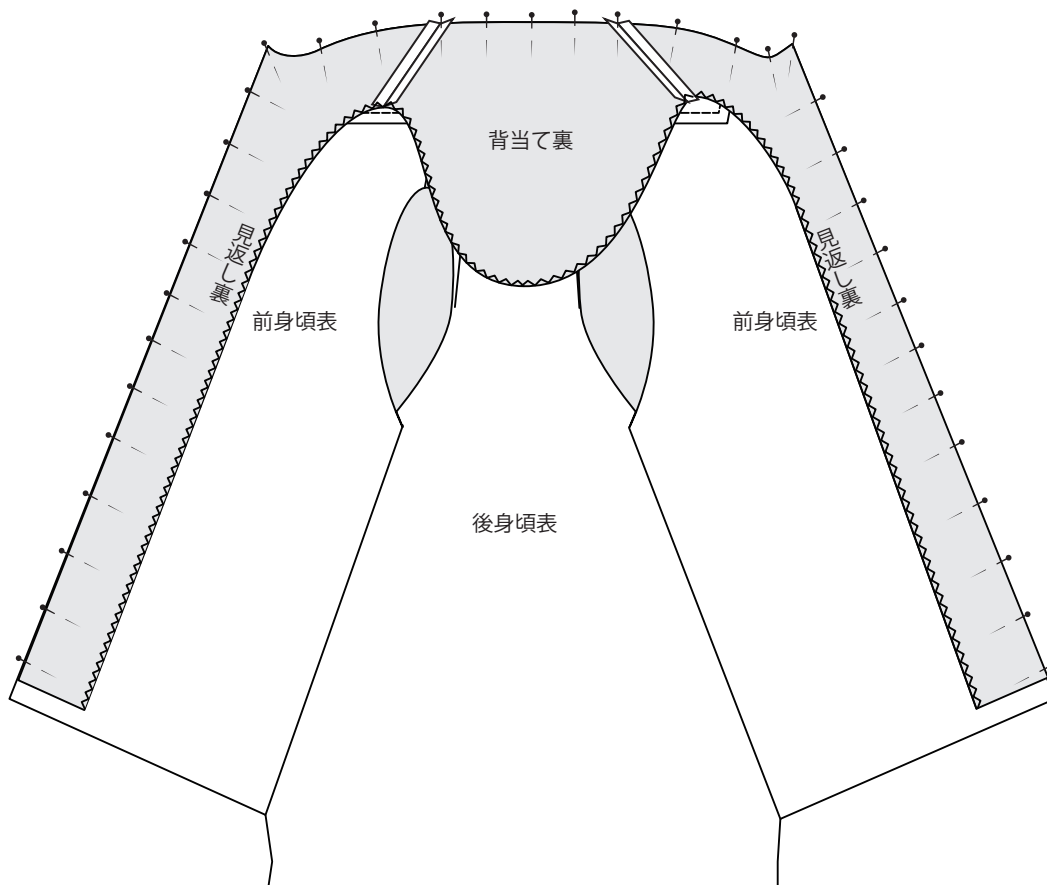
表に戻したらもう一度形を整え、再度きっちりとアイロンをかけ、5mm幅でステッチします。



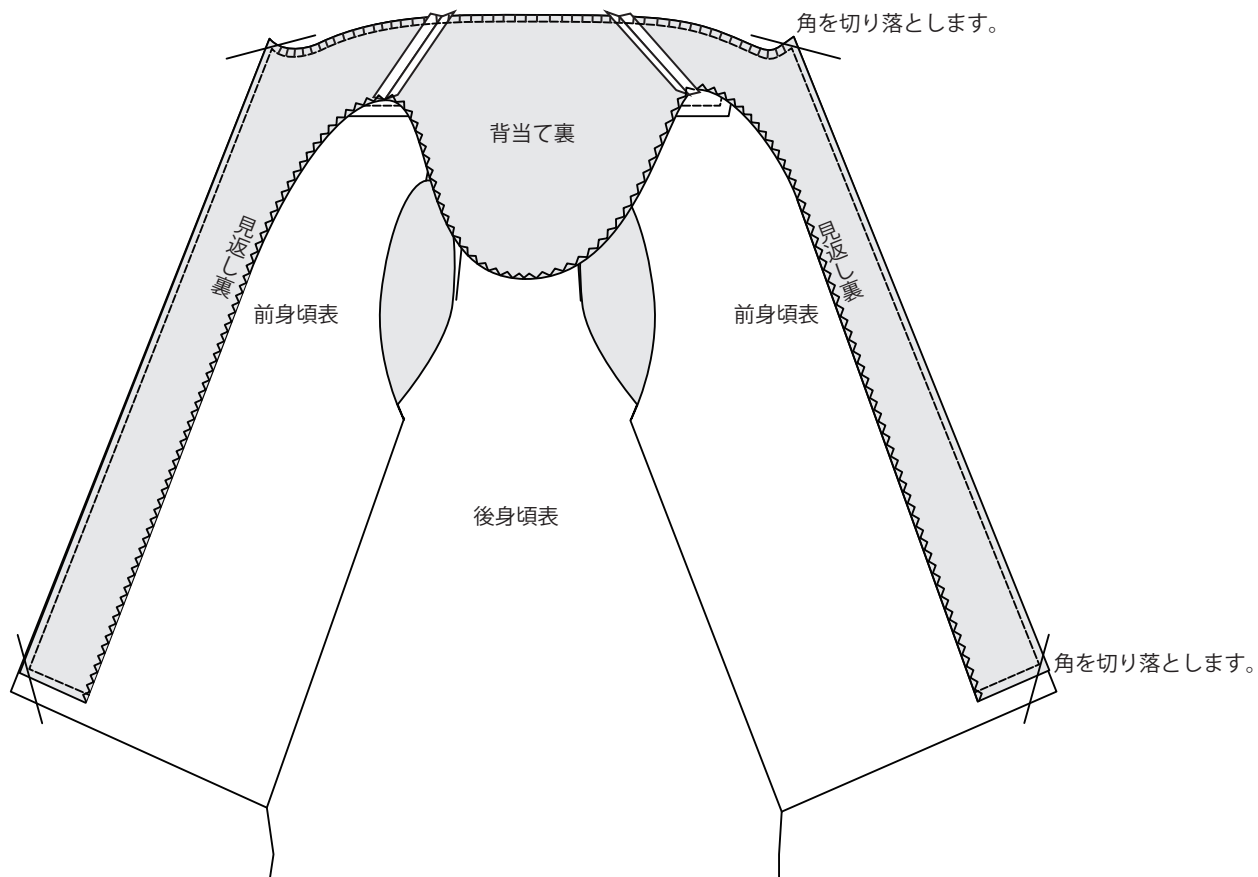
5. 見頃・衿・見返しを合体させます。



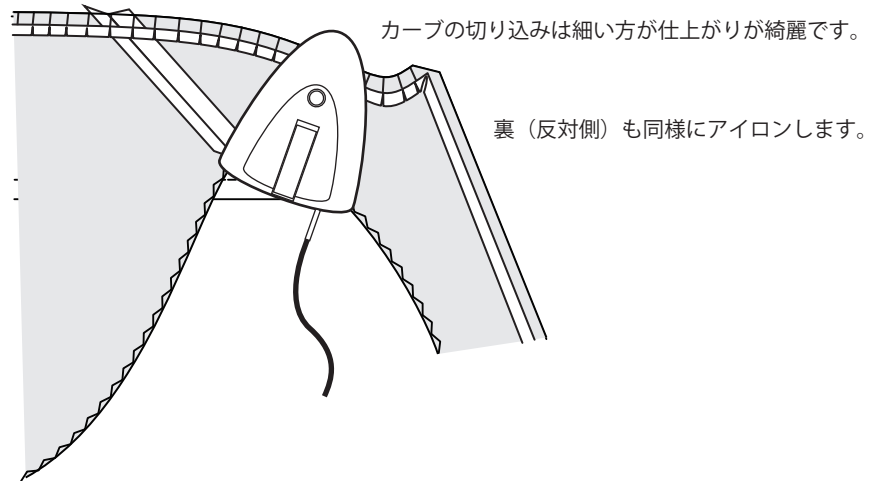
さらに2.で組み立てた見返しを重ね、まち針を打ち直します。ずれないように細かめに。初心者の方や自信のない方はしつけ縫いしましょう。



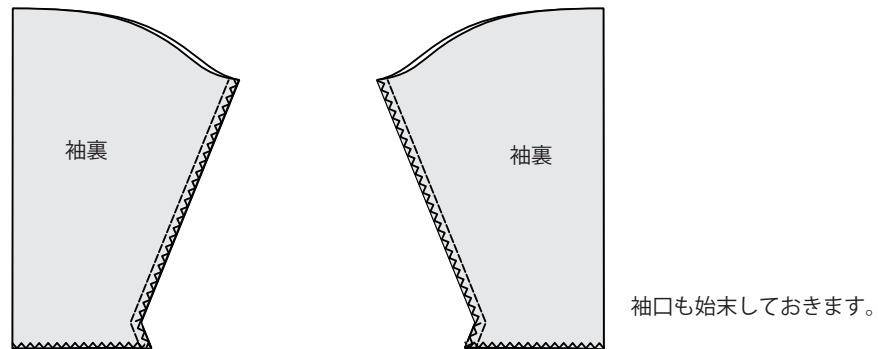
縫代1cmで図のように一気に縫い合わせます。 衿ぐりのカーブには切り込みを入れます。



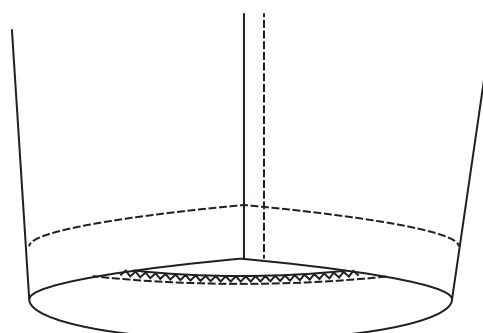
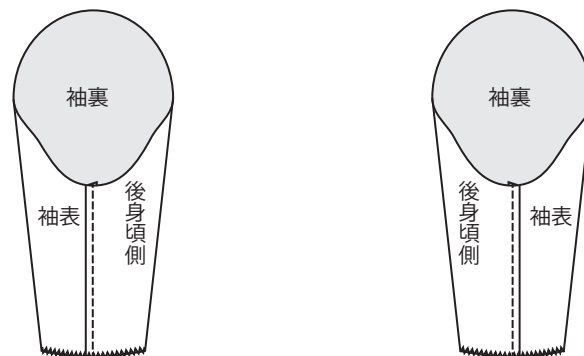
4. の衿同様、縫代をたたんでアイロンをかけ、ひっくり返した時に安定しやすいようにします。



6. 見返しを表にひっくり返すのはお預けにして、袖を組み立てます。

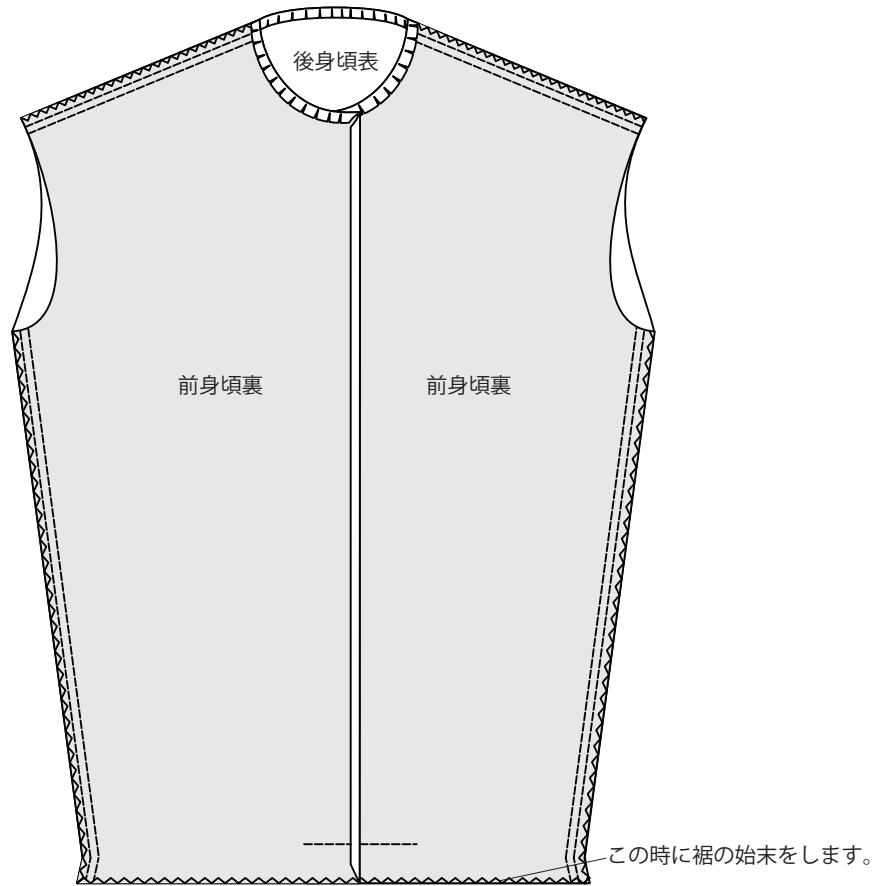


袖を中表に、筒状に縫い合わせ、生地端は2枚一緒に始末します。

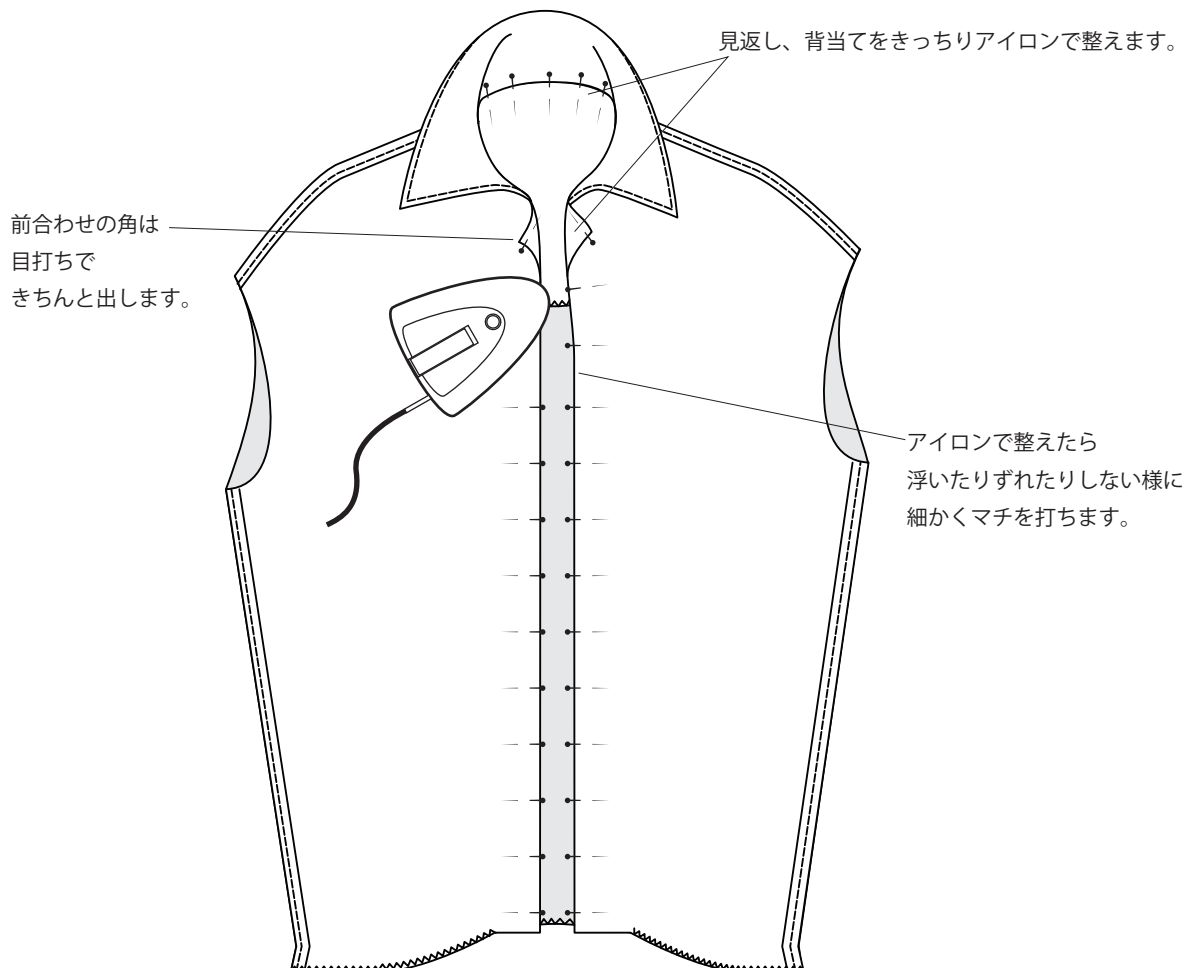


7. 見頃の脇を縫い合わせます。

縫い合わせたら縫代は2枚一緒に始末して後ろ身頃側に倒し、表から5mm幅でステッチします。



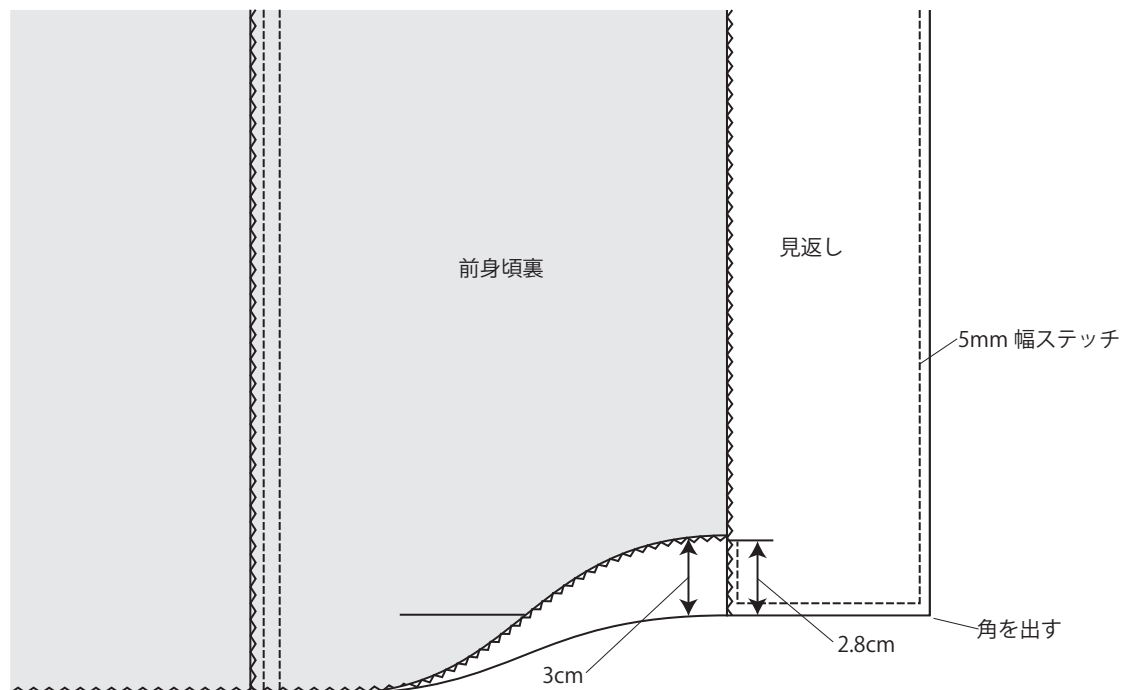
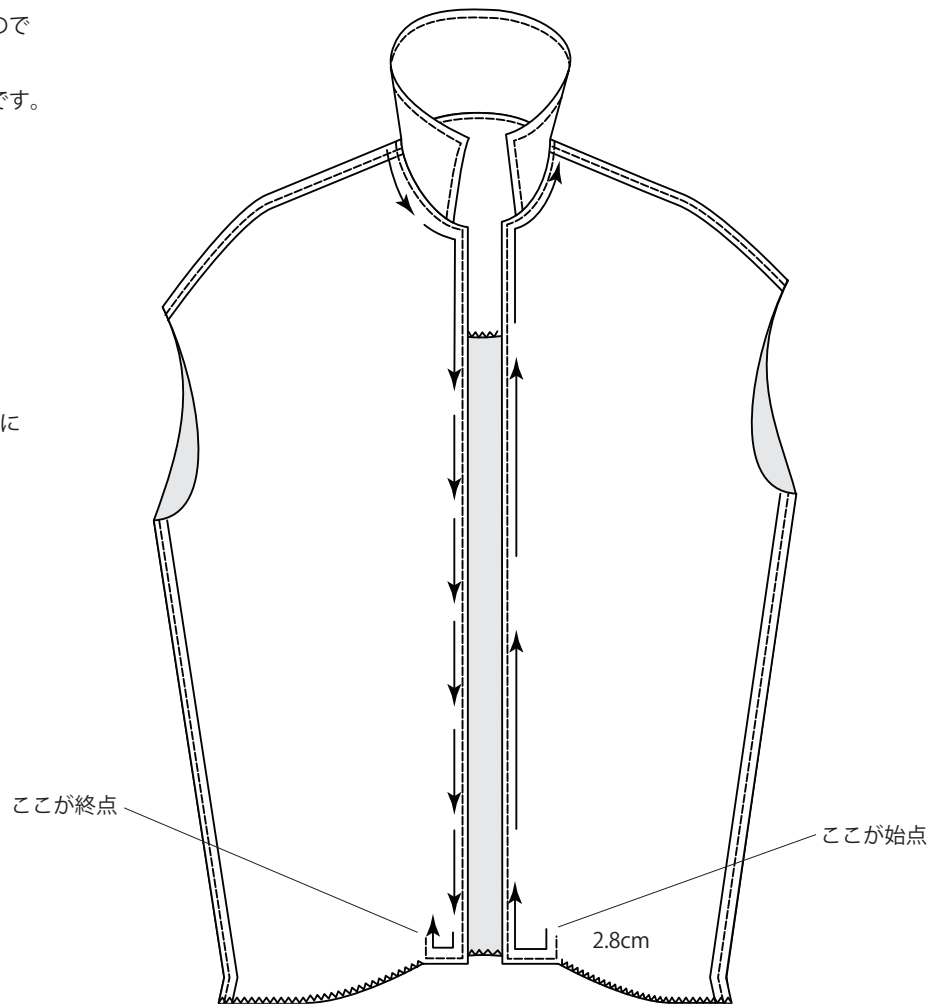
8. 身頃を表に戻し、見返しを表にひっくり返します。



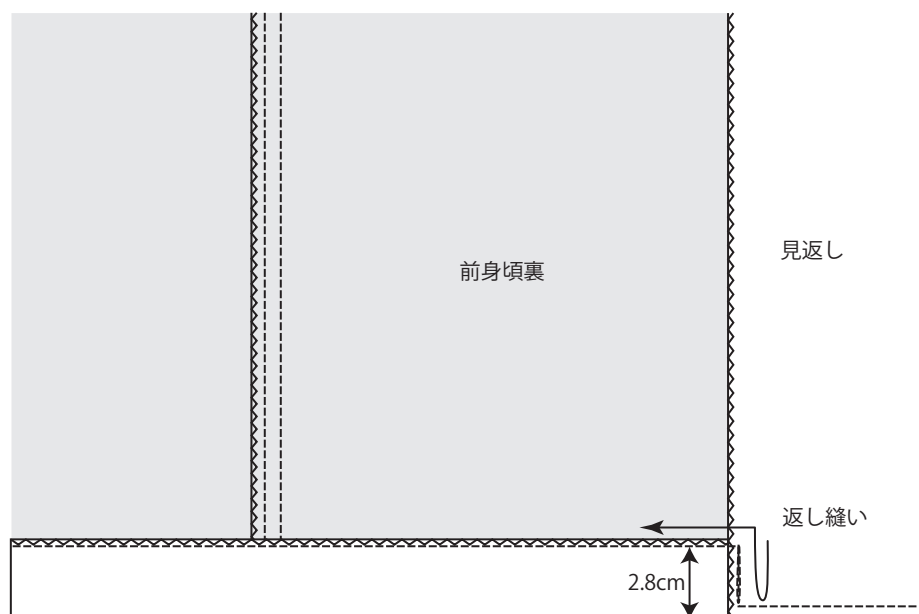
9. 見返しの縁にぐるりと5mm幅でステッチを施します。

長い長いステッチなので  
下糸不足がないか  
先に確認すると良いです。

集中力が切れない様に  
頑張ってください。



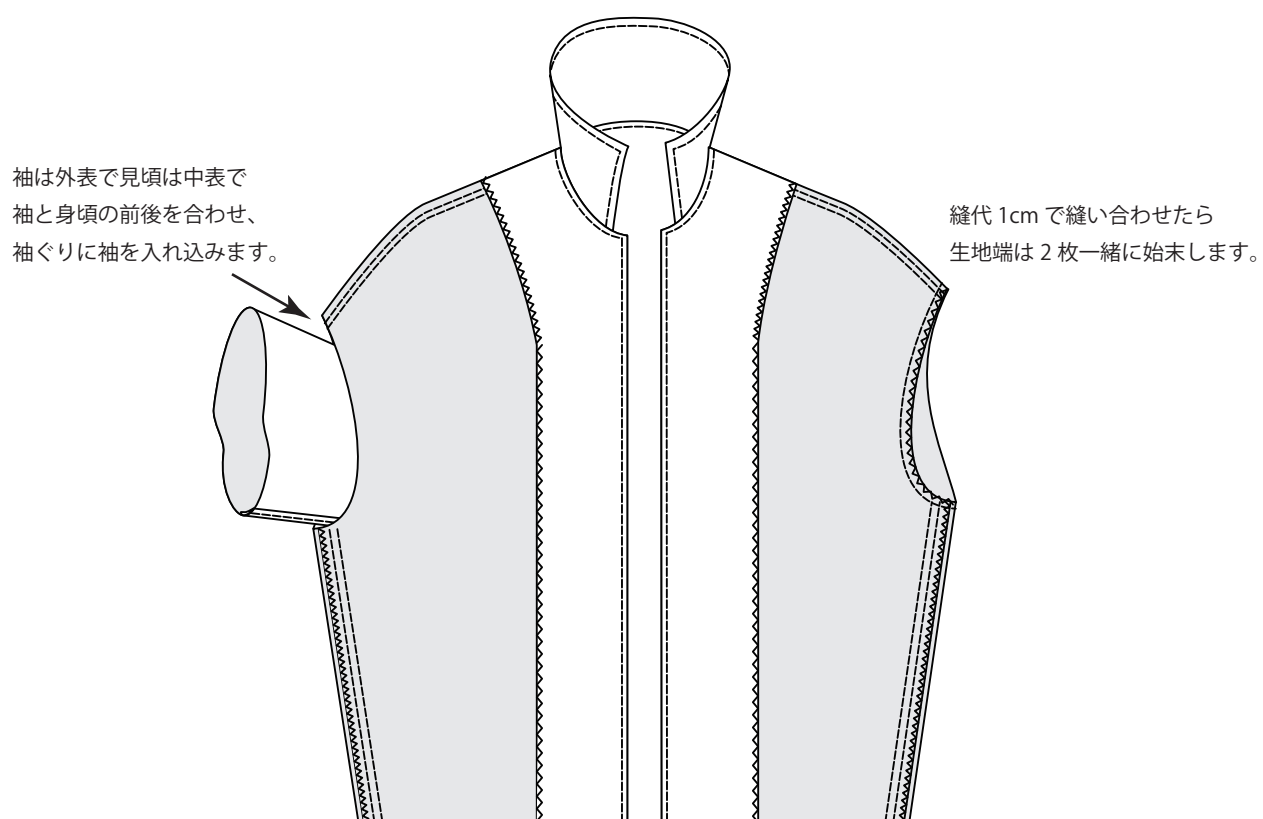
10. 裾を始末します。



裾を 3cm 折り返して幅で 2.8cm 幅でステッチします。

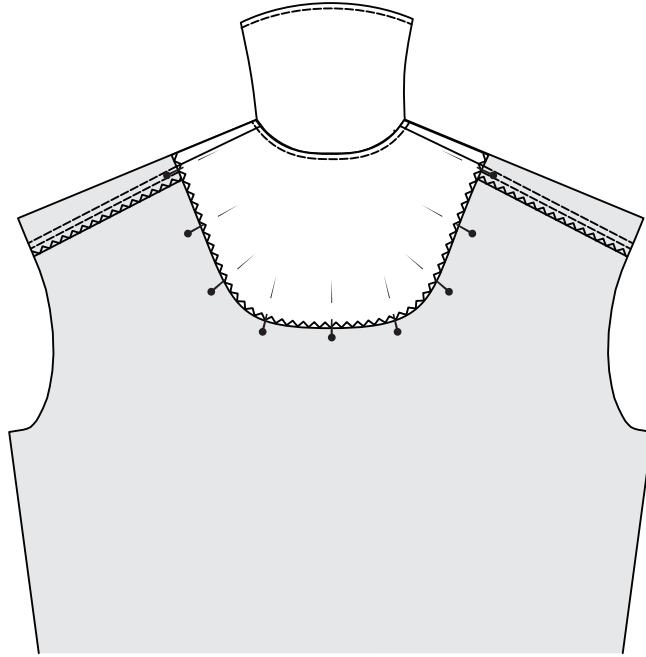
※裏からステッチを叩く場合、上糸の糸調子を少し強めにしておくと表から見たステッチが綺麗に仕上がります。

11. 身頃に袖を縫い合わせます。



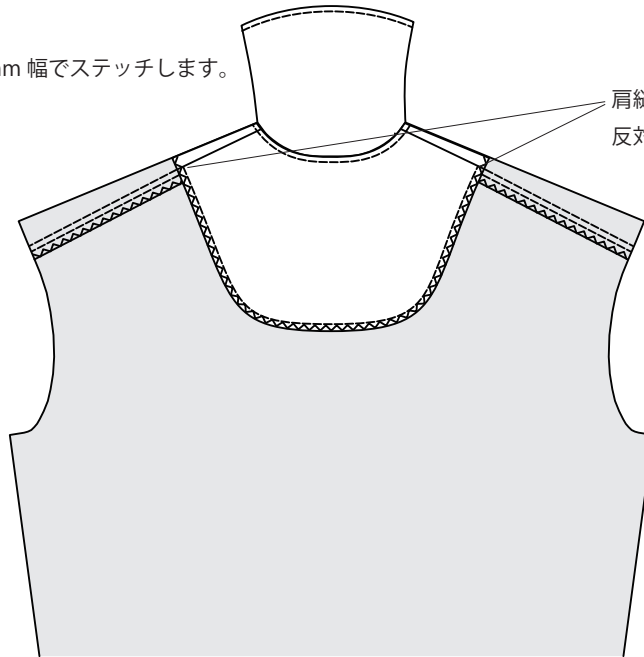


12. 身頃方縫い合わせ線と見返し縫い合わせ線をぴったり重ね、  
背当てのカーブにマチを打ちます。ずれたりしないように丁寧に行ってください。

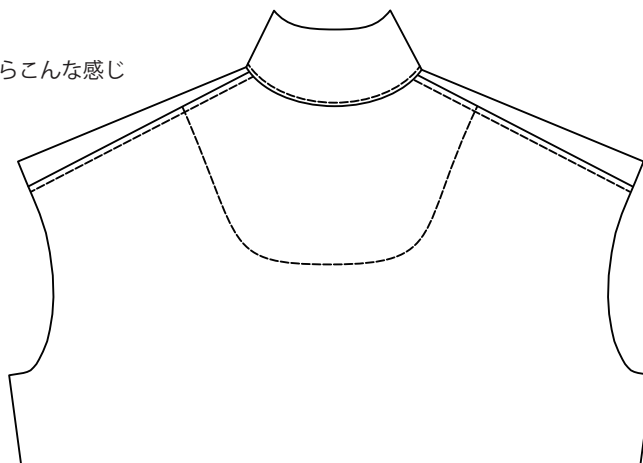


背当てと後ろ身頃を 5mm 幅でステッチします。

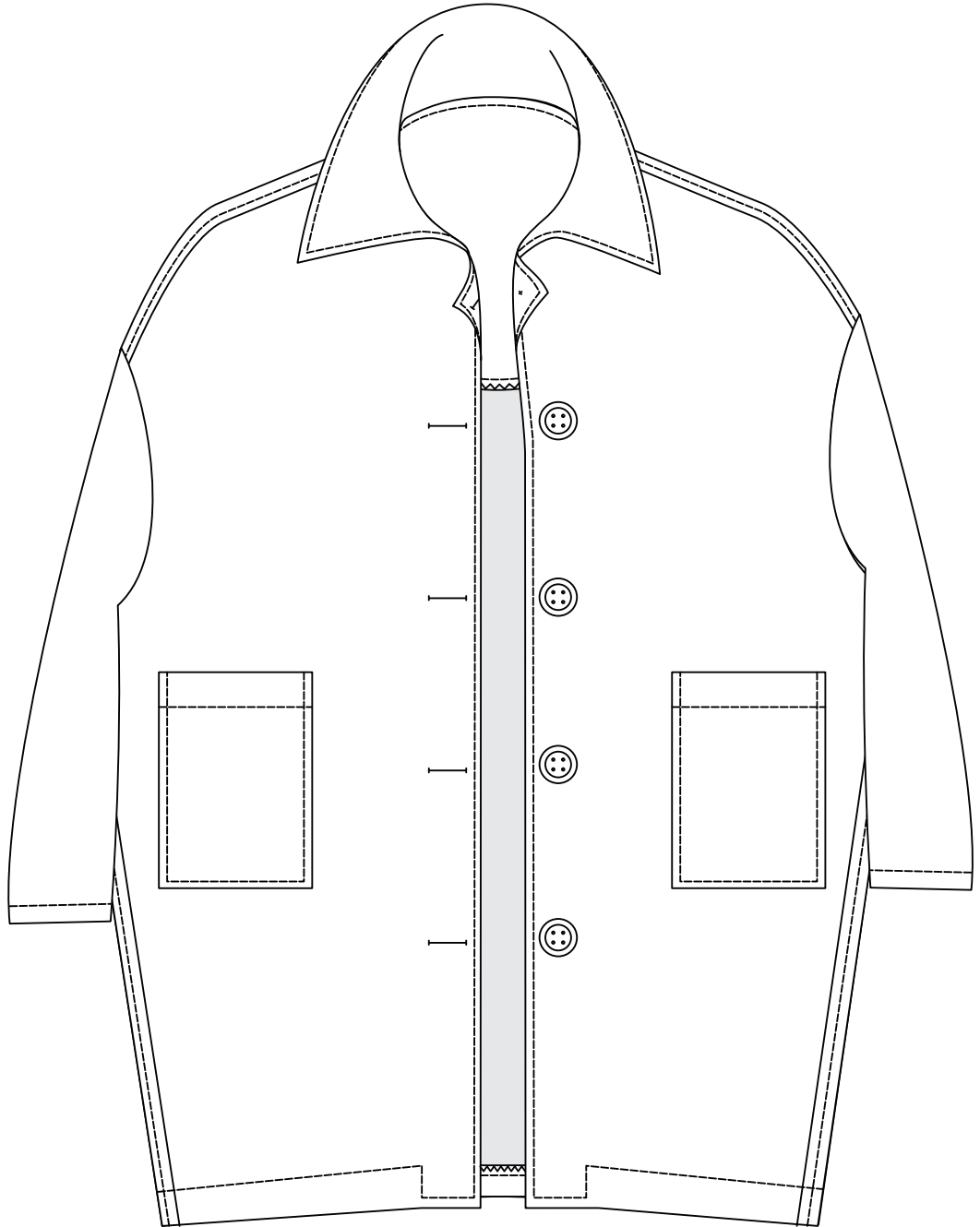
肩縫い合わせ線から  
反対肩縫い合わせ線まで 5mm 幅ステッチ



表から見たらこんな感じ



13. ボタンホールを開け、ボタンを縫いつけポケットを付けたら完成です。



ボタンホールは残布などで先に何度か試してから行うと良いです。

パターン上のボタンホールは直径 25mm 厚み 5mm の物を使用する前提で印を付けてありますので  
お使いのボタンによってご自身で調節してください。